

自治会活動 オンライン化実証実験について



©もうりなおこ

2025年12月6日(土)
桜ヶ丘三丁目自治会みどり会・オンラインコミュニティ運営部

議題

1. はじめに
2. オンライン化実証実験への申し込み経緯
3. オンライン化実証実験開始時の問題
4. オンライン化執行部の発足
5. オンライン化実証実験の活動
6. オンライン化開始の決定
7. オンライン化開始のための規約作成と配布
8. 今後の継続課題
9. みどり会からの要望事項

1. はじめに

桜ヶ丘3丁目自治会みどり会紹介

- 世帯数：約500世帯 / 会員数：309世帯（約6割）
- 自治会組織
 - みどり会役員（任期1年）
会長1名、副会長2名、庶務3名、会計1名、会計監査1名、顧問1名
 - 防災対策委員会（任期2年～）
本部長1名、副本部長2名、
救護部／防火部／調達部／広報部（部長／副部長 各1名）、
防災対策委員25名
- 地域の特徴
 - 世代交代が急速に進んでいる（若い世代は自治会に入会しない世帯が多い）
 - 丘陵地域のため坂道が多く、ゲリラ豪雨などでは土砂災害の発生が危惧される

2. オンライン化実証実験への申し込み経緯

自治会の抱えている現状課題

- ・みどり会役員の担い手が見つからない
- ・自治会の会員数が減少傾向
- ・役員の人数と比較し、行事の運営が多く負担が多い

課題を解決するため、防災対策委員会・広報部を中心に、オンライン化を進めていた。

- ・情報共有のためのホームページ作成
- ・タイムリーな情報発信のためのLineアカウントの取得
- ・会員からの情報収集のためのメールアドレス取得

自治会が独自で実施することの困難や継続性に限界を考え始めた頃

多摩市自治連合会より「オンライン化実証実験 参加自治会募集」があり、みどり会の抱える課題と合致していることから、オンライン化実証実験の申し込みを行った。

3. オンライン化実証実験開始時の問題

会員向けの回覧板にて

- ・多摩市自治連合会の「オンライン化実証実験」にみどり会が選ばれた
- ・オンライン化推進のため「ユミコム・アプリ」の導入をお願い
- ・説明会を開催するため出席のお願い

行ったが、一部の会員よりご理解を頂けない状況でした。

- ・アプリ導入に関して、ユミコムを採択した理由は？
- ・個人情報の取り扱いは？
- ・アプリを入れられない高齢者などとの情報伝達の格差はどう考えているのか？
- ・アプリを導入しない自治会会員の取扱いはどうするのか？ Etc.

説明会では、オンライン化を推進するための「ユミコム・アプリ」の導入方法や使用方法を説明する予定でしたが、回覧板での内容説明を求められ、説明会は紛糾してしまった。

後日、あらためてオンライン化実証実験の実施経緯や今後の活動計画を盛り込んだ回覧板を回すことになった。

4. オンライン化執行部の発足（1）

2024年9月のオンライン化実証実験の案内および説明会以降、ユミコム・アプリの登録者数が増えない、状況が続いた。

みどり会役員がオンライン化実証実験での、具体的な行動ができていなかった。

オンライン化が失敗すると、今後二度とオンライン化できないのではないか？との強い思いから、**オンライン化を推進するため執行部**を発足(2024年11月)させることとした。

オンライン化執行部の発足時の体制

みどり会役員／防災対策委員から、オンライン化執行部として8名を選出

執行部長1名、執行副部長1名、オブザーバー1名

4. オンライン化執行部の発足（2）

オンライン化執行部の推進方法

- ・オンライン化に必要な項目を洗い出し、それぞれの項目の役割分担を行った
- ・執行部会を月1回開催し、オンライン化に向けての進捗／問題／課題を共有した
- ・会員向けの意見交換会を開催(2カ月に1回)し、会員からの意見を吸い上げる
- ・QA／課題／問題一覧を作成し、改善策の策定を行う
- ・2025年9月末までのスケジュールを策定し、オンライン化を目指した
- ・オンライン化の経緯や今後の進め方の共通認識を持つため
冊子(バインダー)にまとめ執行部メンバーに配布した

～執行部内の共通認識～

- ・オンライン化の目的は、みどり会役員の負担を軽減させ次期みどり会役員の担い手を継続的に確保可能な体制になるようにすること
- ・オンライン化の手段として、ユミコムアプリを活用する。



4. オンライン化執行部の発足（3）

参考：オンライン化執行部の役割

役割	主な内容
執行部 部長	全体とりまとめリーダー、会議招集など
執行部 副部長	部長代理、全体役割の代理
会議進行	意見交換会などの進行
議事録	意見交換会／役員会などで記録を残す
全体スケジュール作成	意見交換会／執行部会など
会議議題作成（回覧資料含む）	オンライン化推進の資料を含む
資料印刷	会議資料の印刷など
課題QA表の取りまとめ	会議での課題QAなど取りまとめ
オンライン化規約の取りまとめ	議事、課題、QAなどから規約をまとめる
管理者グループの管理	デジタル回覧板の管理など
引継ぎ資料作成（執行部内部資料）	次期執行部への引継ぎ資料作成
ユミコムアプリ見積もり取得の準備	使用する機能の取舍選択
ユミコムアプリ見積もり取得	
みどり会臨時総会の招集	次期みどり会会長へ依頼
みどり会臨時総会向け資料作成	
ユミコム登録推進（勧誘）	
オブザーバー	

5. オンライン化実証実験の活動（1）

- ・毎月1回(第2水曜日19:00～)オンライン化の執行部会を開催
- ・2024年11月 第1回 みどり会会員向け 意見交換会
- ・2024年12月 ワンベルウッズより見積もり取得（1回目）・・・総会にむけて
- ・2025年01月 永山6丁目自治会さんとの交流会
- ・2025年02月 第2回 みどり会会員向け 意見交換会（カフェ形式）
- ・2025年03月 災害モードの訓練実施（1週間）・・・みどり会会員の安否確認
安否確認 1日目：24.2%、2日目：37.9%、3日目：42.9%、4日目：46.2%
5日目：52.2%、6日目：53.8%、7日目：5x.x%（集計できず）
- ・2025年04月 みどり会定時総会にてオンライン化の承認される
第3回 みどり会会員向け 意見交換会（課題・QA管理の共有）
2025年度のみどり会役員より5名がオンライン執行部へ追加参加

5. オンライン化実証実験の活動（2）

- ・2025年05月 ワンベルウッズとの打ち合わせ(運営方法の紹介、みどり会QA回答)
- ・2025年05月 ユミコムアプリの導入に関するアンケート実施
- ・2025年06月 第4回 みどり会会員向け 意見交換会（オンライン開始の質疑）
- ・2025年07月 オンライン化規約作成の検討開始
ワンベルウッズより見積もり取得（2回目）・・・本契約に向けて
- ・2025年08月 オンライン化規約のたたき台作成
オンライン化から**オンラインコミュニティ**に名称変更
オンライン化執行部から**オンライン運営部**に変更
- ・2025年09月 オンラインコミュニティ規約をみどり会会員へ回覧／正式な開始を通達
オンラインコミュニティ運営部の運営方法（引継ぎ資料）検討開始
- ・2025年10月 オンラインコミュニティ開始・・・以降の運営引継ぎは毎年10月予定

5. オンライン化実証実験の活動（3）

その他、ユミコムアプリ登録者数の増加のための資料作成や配布 など

オンライン化実証実験中に利用した「ユミコムアプリ」の機能と評価

カレンダー機能：リマインドの送付ができ、会議の出欠機能もあるため、評価は○

お知らせ連絡帳：役員と会員の連絡が容易の点は、評価は○

自身が宛先に含んだ場合の連絡が投稿か受信か区別がつきにくい点は、評価は×

デジタル回覧板：過去に遡って見直しができ、情報もタイムリーに見れるので、評価は◎

みんなの投稿BOX：回覧板より早い情報／会員からの情報を投稿できるので、評価は○

トーク：機能は良いが写真などのファイルが多いとアプリが落ちる／動画が送れないなど、評価は△

みんなの投票箱：投票結果がタイムリーに確認できるため、評価は○

実証実験期間中、ユミコムアプリを登録していないにも関わらず、意見交換会にも参加頂けない状況が続き、登録者数を増やすことが非常に苦労した。

6. オンライン化開始の決定

オンライン化の開始時に、ユミコムアプリ登録者数がみどり会会員の70%を超えていることを目安としていた。

しかしながら、毎月の執行部会において、登録者数の推移を確認するが、70%の目安には程遠い状況が続いていた。

2025年05月のアンケートは、オンライン化の開始を決定するために行った。

回覧板アンケート結果

ブロック	ユミコムアプリ導入					意見	回覧数
	済	予定	できない	しない	未回答	交換会	
合計	130	87	24	29	19	15	294
	217						

ユミコムアプリの登録済みと予定を合わせて目安の70%を超えたため、オンライン化開始を決定した。

7. オンライン化開始のための規約作成と配布

オンライン化のツールである「ユミコムアプリ」では、会員が投稿できる機能が備わっているため、みどり会の会員向けのルールを決める必要があった。

オンライン化規約のたたき台を作成し、オンライン化執行部内で議論を行った。

月1回の議論では規約の完成はせず、LINEを使用して文字での議論は、深夜に及ぶこともあった。

完成した規約は、回覧板にてみどり会会員へ開示した。

全戸配布を予定していたが、ユミコムアプリで配布したため、回覧板での開示に変更した。
規約では、

オンライン化の「～化」はオンラインが開始されるのに違和感があることから、

オンラインコミュニティに名称を変更し、さらに今後はオンラインを運営する活動に変化することから、執行部を運営部に変更した。

8. 今後の継続課題

- ・オンライン化できない高齢者などへの対応（情報格差）の検討
- ・オンラインコミュニティ運営部の運営方法（引継ぎ資料）の作成
- ・ユミコムアプリ登録の推進、説明会を継続実施するかの検討
- ・ユミコムアプリの利用促進（みどり会会員による積極的な利用）
- ・従来の回覧板について、必要可否のアンケート（2025年11月23日～実施中）
- ・実証実験中に実施できなかったクーポンの利用検討
- ・ユミコムアプリで会員からの連絡が不可となった場合(パスワード失効など)の運営部への連絡方法の検討
- ・オンラインコミュニティ運営部からみどり会役員への移行の検討 etc.

桜ヶ丘三丁目自治会みどり会のオンラインコミュニティは開始したばかりで、今後も継続的に実施する内容はたくさんあります。

9. みどり会からの要望事項（1）

ワンベルウツス様

- 1) 導入／運営マニュアルを作成してほしい（管理者向け／一般会員向けそれぞれ一気通貫のマニュアル）
- 2) 1 団体に割り当てられているアプリの使用容量を知りたい
ライブラリーへの資料保存や、トークなどで写真を共有したい場合などに活用するため
- 3) ユーザーでカスタマイズできることを改修いただきたい
例：ライブラリーの下に、子ディレクトリーを追加できるなど
- 4) テスト中かもしれませんが、管理者画面のAIチャットを一般画面で使用できないか？
- 5) 三本マークにヘルプ機能を追加できないか？
- 6) AIチャット機能に音声入力は追加できないか？
- 7) 一般会員向けのマニュアルは、一般向けのアプリ内に配置してほしい
- 8) アプリの改修は「～をしました」ではなく「xx/xxに改修します」と、予告で連絡をいただきたい
（既に対応いただいている認識ですが念のため）
- 9) みんなの投票箱にコメントを入れられるようにできないか？
（選択肢以外の意見を投票いただく、アンケート機能として利用ができないか？）

9. みどり会からの要望事項（2）

多摩市

- 1) オンライン実施の自治会に助成金を支給してほしい
- 2) 多摩市からオンライン化の推進をしてほしい（ほしかった）・・・ ユミコムアプリ登録推進のため
- 3) 今回のオンライン化実証実験を「たま広報」へ掲載できないか？
多摩市として、自治会のオンライン化を推進しているのか？確認したい。
- 4) 多摩市自治連合会で推進したオンライン化実証実験（またはオンライン化）を次年度以降も推進するのか？

多摩市自治連合会

- 1) オンライン化実証実験の情報が自治会へ入ってこない
オンライン化実証実験の団体を募集／選択した後、関与せず放置状態だった印象がある
- 2) 今後、他自治会へのオンライン化の推進について、どのように考えているのか？（継続するのか？）

9. みどり会からの要望事項（3）

全般

1年間苦勞した、我々の活動が無駄にしないでほしい

- ・今後もオンライン化を推進してほしい
- ・オンライン化推進の共有会議などに、実証実験自治会として参加も検討可能
- ・(営業活動をするわけではないが) オンライン化を推進するなら、共通のアプリ(プログラム)を希望する

一番の苦労点
何もない事(今まで対応していないオンライン化)を一から作り出すこと！

ご清聴
ありがとうございました

桜ヶ丘三丁目自治会みどり会
mbousai101@gmail.com



©もうりなおこ